

EU Indicators

欧州経済指標コメント：7-9月期英国 F L S 利用状況

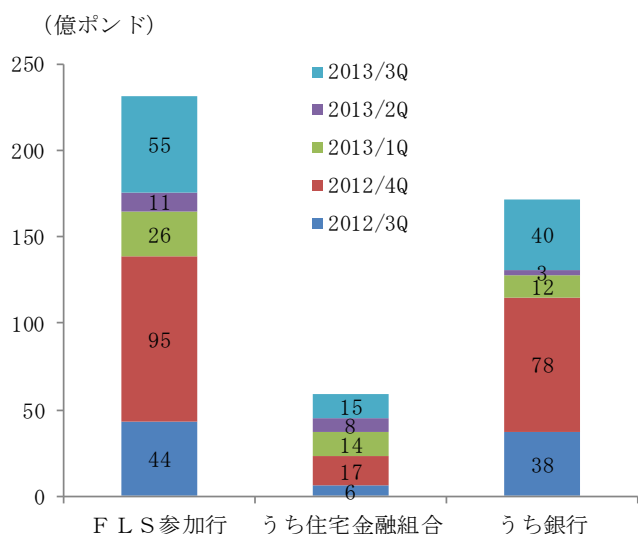
発表日：2013年12月3日(火)

～そろそろ住宅市況にブレーキを～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

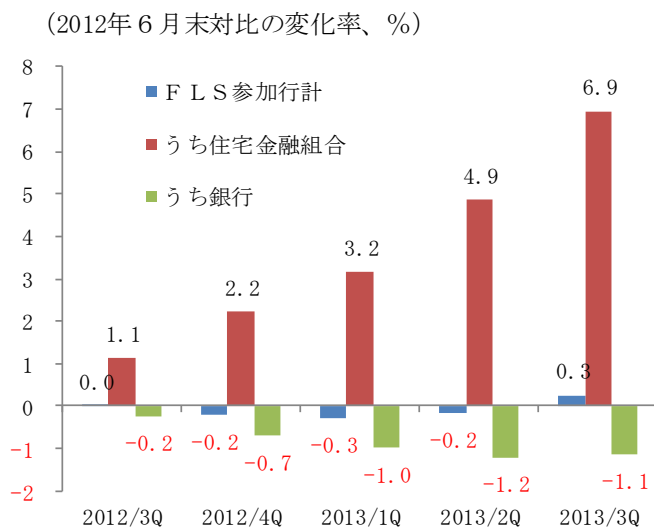
- ・ 2日に発表された7-9月期の英国のF L S（貸出促進制度）の利用状況は55億ポンドと、過去2四半期（11億ポンド、26億ポンド）から加速し、2012年7月の運営開始以降の累積の利用額は231億ポンドに達した。今期の利用行の内訳は、主に住宅ローンを扱う住宅金融組合が15億ポンドに対し、銀行が40億ポンド。過去2四半期は住宅金融組合が全体の6割前後を占めたが、今期は25%強にとどまった。今年4月に発表した中小企業向け融資増加のインセンティブを強化した政策変更の効果が現れている。
- ・ F L S 参加行の9月末時点の家計・非金融企業向け融資残高は、制度開始以前（2012年6月末）と比較して、参加行計で+0.3%と初めて増加に転じた。住宅市場の活況を反映して住宅金融組合が+6.9%増加した一方、銀行も▲1.1%と前期（同▲1.2%）から僅かながら減少率が縮小した。F L S は制度の運営開始後も参加行の貸出減少が続き、当初、効果は限定的との見方が大半だったが、景気回復による資金需要の増加とともに貸出促進に寄与し始めた。
- ・ B O E と財務省は11月28日に、2014年1月以降のF L S 利用は住宅ローンを対象外にすることを発表。既に住宅市況の一部に過熱感があるなか、さらなる政策支援は不要と判断した（担保不足を補完する Help to Buy 制度による住宅購入支援は継続する）。

■ F L S 参加行の家計・非金融企業向け融資残高



出所：B O E 資料より第一生命経済研究所が作成

■ F L S 参加行の家計・非金融企業向け融資残高



出所：B O E 資料より第一生命経済研究所が作成